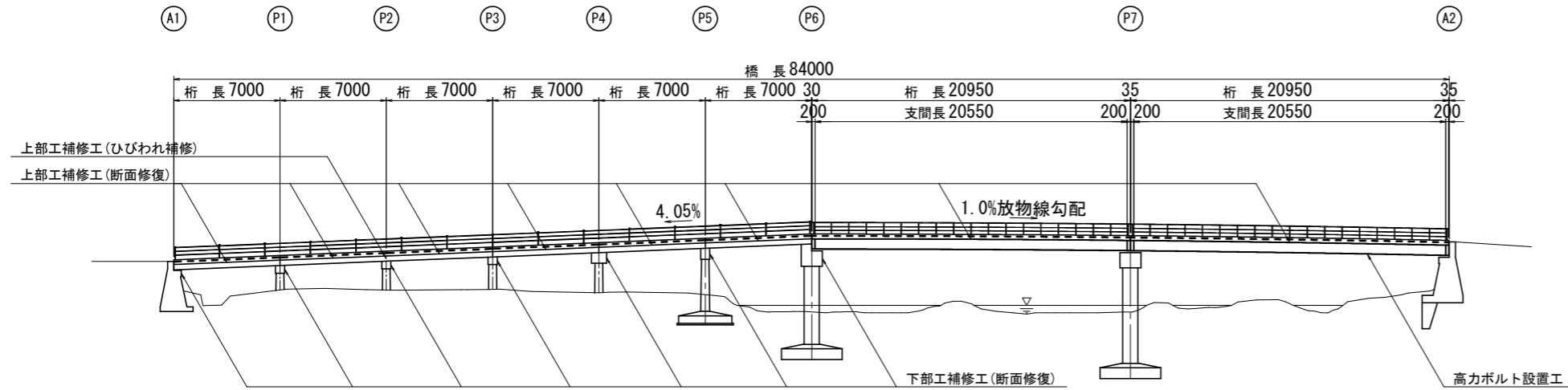


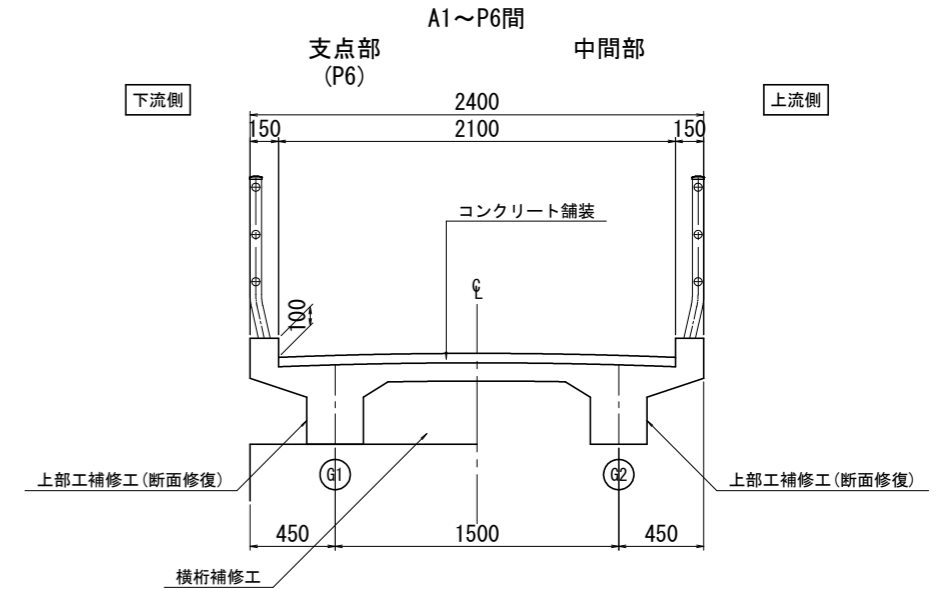


# 久我橋 補修一般図

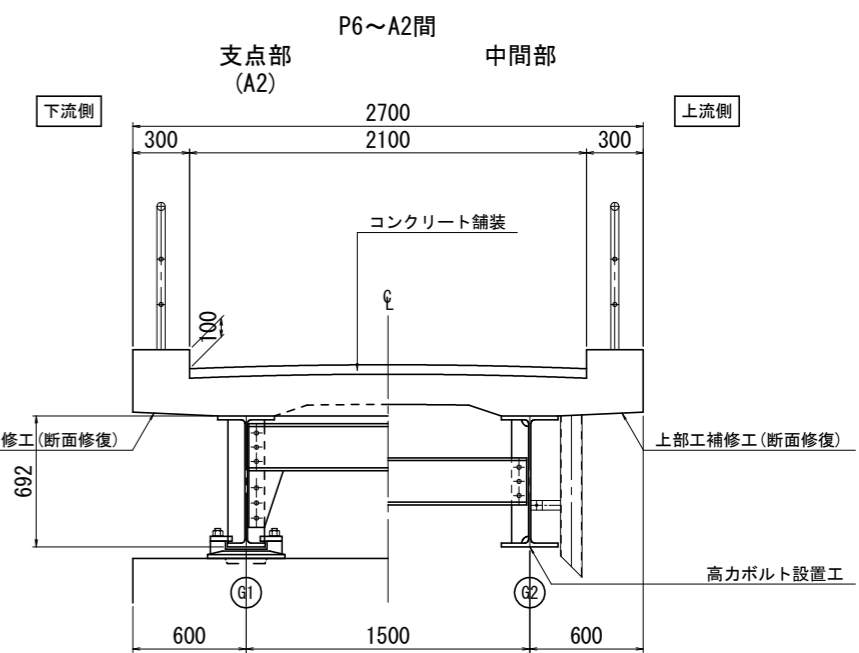
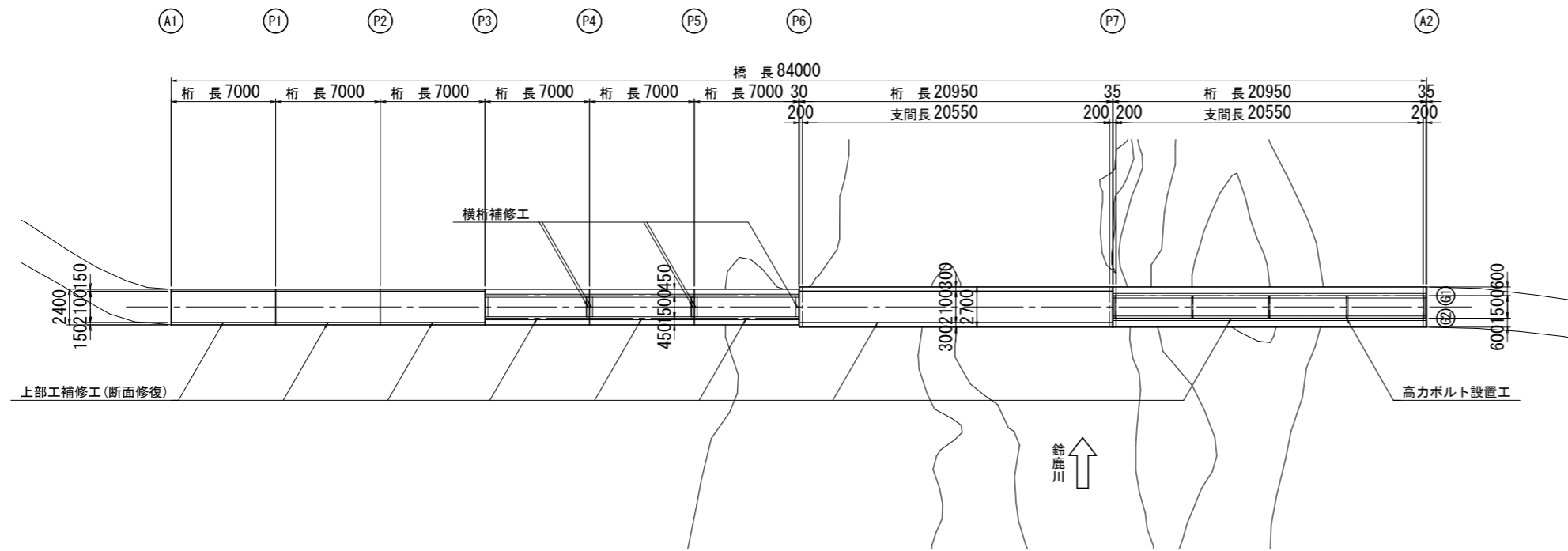
側面図 S=1:200



断面図 S=1:20



平面図 S=1:200



補修項目一覧表

名称	規格・寸法	単位	数量	備考
上部工補修工(断面修復)	無収縮系 リマセメントモルタル	m <sup>2</sup>	15.514	
上部工補修工(ひびわれ補修)	可とう性エポキシ樹脂	m	0.6	
下部工補修工(断面修復)	無収縮系 リマセメントモルタル	m <sup>2</sup>	1.813	
横桁補修工	コンクリート 24-8-25	m <sup>3</sup>	0.46	
高力ボルト設置工	HTB M22×85 F10T	本	1	

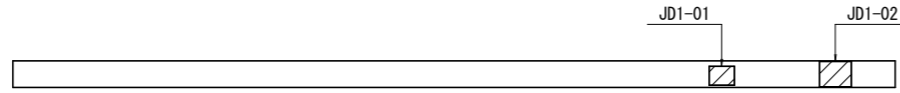
〈注記〉  
 1. 本図は既往の図書及び実測により作成した一般図である。

工事名	久我橋橋梁修繕工事
施工箇所名	亀山市関町新所地内
図面の種類	久我橋 補修一般図
縮尺	図示 図面番号 2
事務所名	亀山市

# 久我橋 上部工補修図(その1)

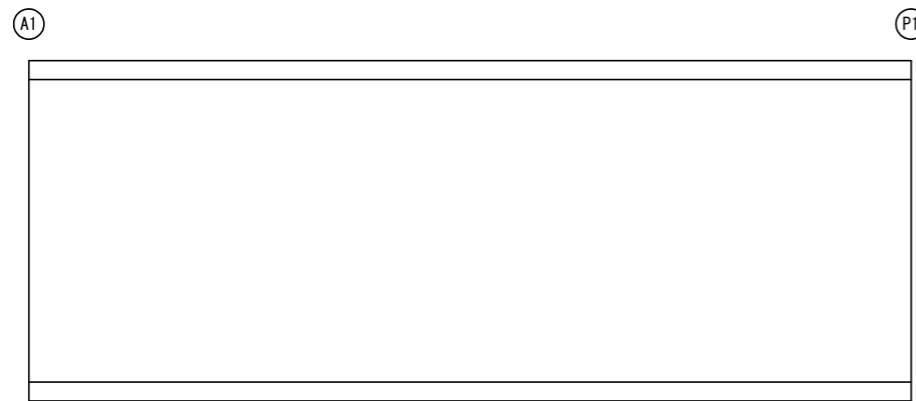
S=1:30

地覆 下流側



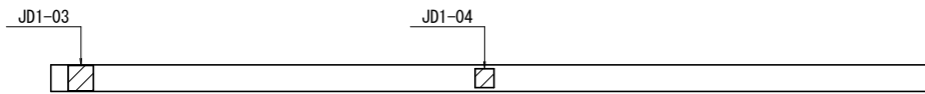
平面図

(橋面)

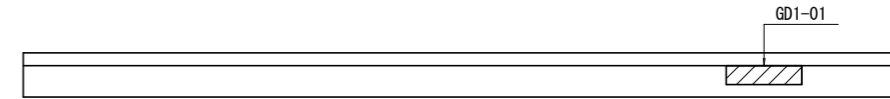


↑  
鈴鹿川

地覆 上流側

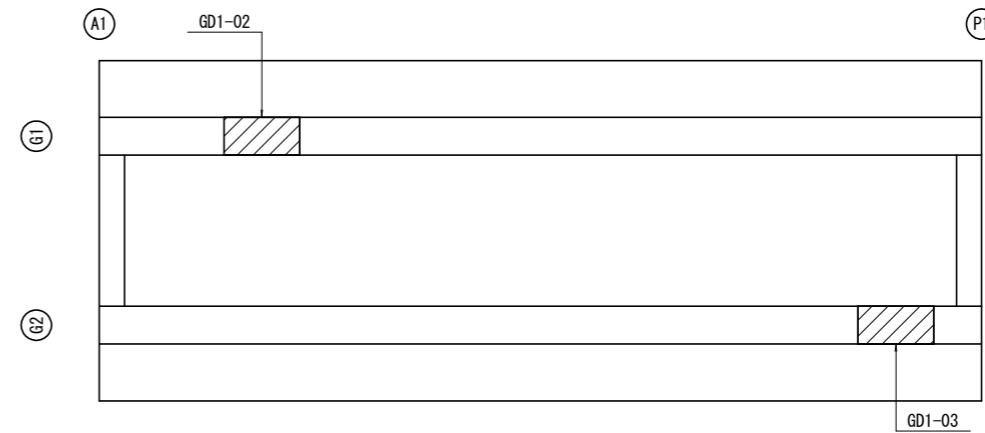


G1桁 上流側

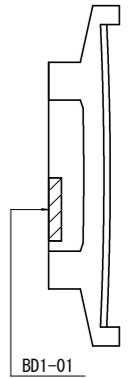


平面図

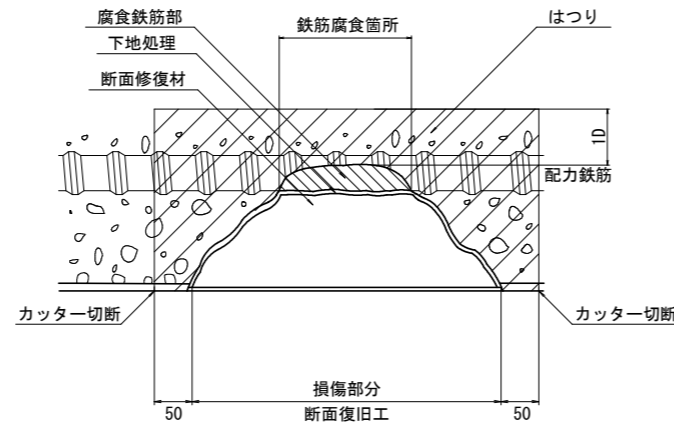
(桁下)



↑  
鈴鹿川



## 断面修復工



断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状(m)	箇所	面積(m2)	備考
主桁	GD1-01	0.150 × 0.700	1	0.105	
	GD1-02	0.300 × 0.700	1	0.210	
	GD1-03	0.300 × 0.700	1	0.210	
横桁	BD1-01	0.100 × 0.600	1	0.060	
地覆	JD1-01	0.150 × 0.300	1	0.045	
	JD1-02	0.200 × 0.350	1	0.070	
	JD1-03	0.200 × 0.300	1	0.060	
	JD1-04	0.150 × 0.250	1	0.038	
小計		Σ	0.798		
				面積(m2)	0.798

断面修復工数量表

100m2当り

名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m2	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防錆処理		式	1	
断面修復(左官)		m2	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮ポリアセメント系モルタル	m3	(3.0)	平均t=30mm

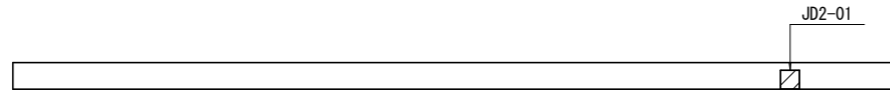
- 注) 1. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 2. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所周辺については、損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつりを行うこと。  
 4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町新所地内		
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	3
事務所名	亀山市		

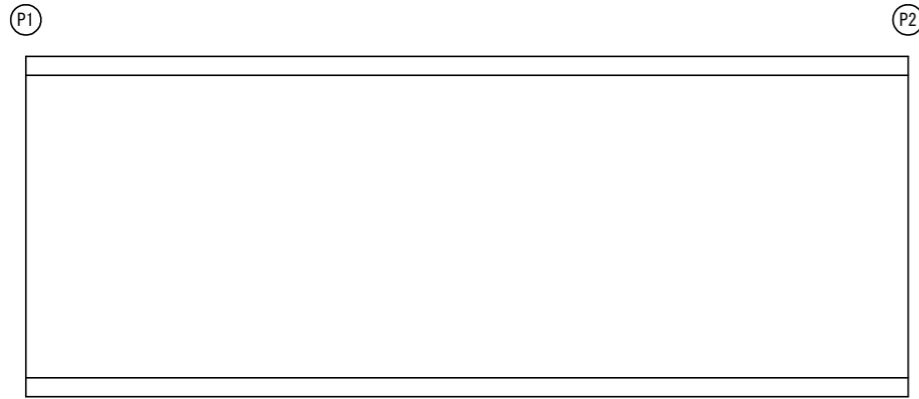
# 久我橋 上部工補修図(その2)

S=1:30

地覆 下流側

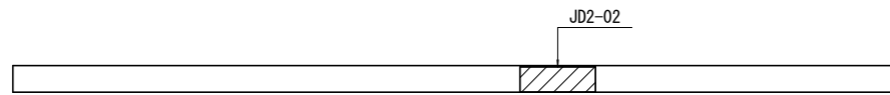


平面図  
(橋面)

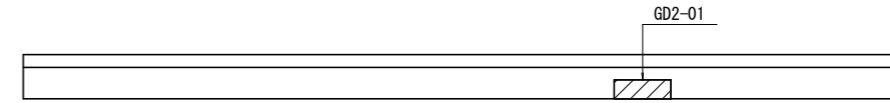


鈴鹿川 ↑

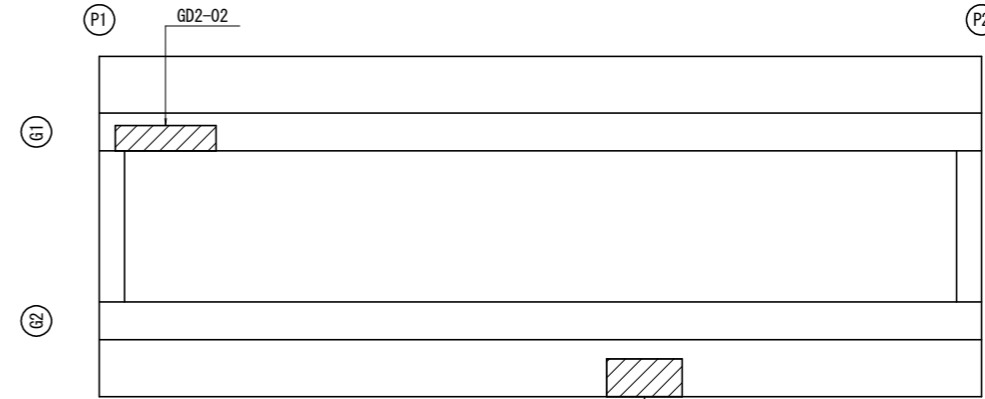
地覆 上流側



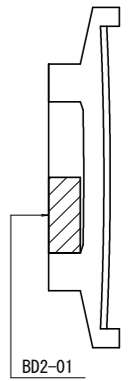
G1桁 上流側



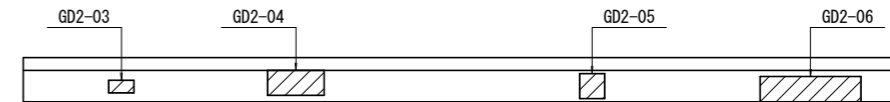
平面図  
(桁下)



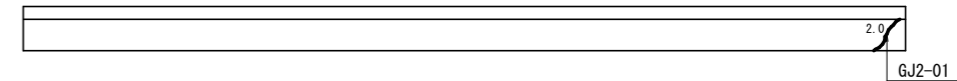
鈴鹿川 ↑



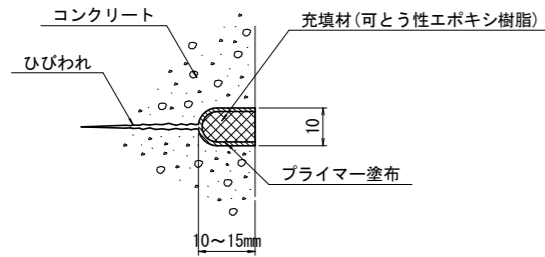
G2桁 下流側



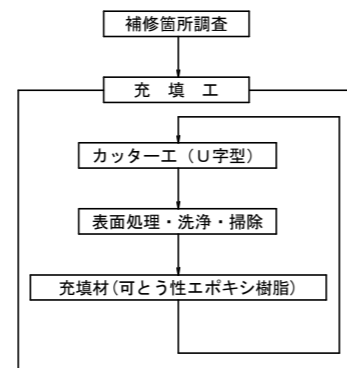
G2桁 上流側



ひびわれ充填 詳細図



施工手順



ひびわれ充填 数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
充填材	可とう性エポキシ樹脂	kg	21	1400kg/m <sup>3</sup>
コンクリート殻	無筋	m <sup>3</sup>	0.015	殻運搬含む 参考重量0.04kg

100m当り

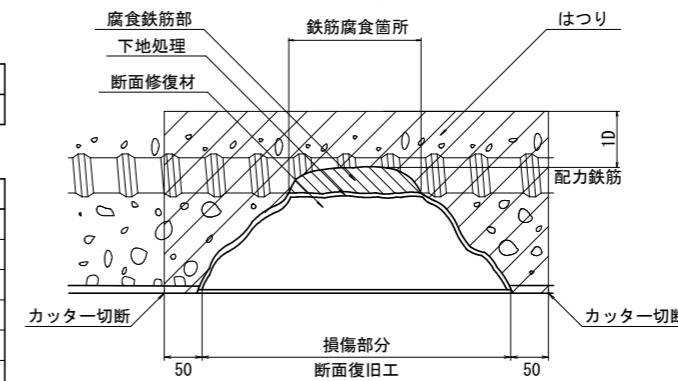
ひびわれ充填

部材	No.	延長(m)	摘要
主桁	GJ2-01	0.3	ひび割れ幅 ≈2.0mm

断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状(m)	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	備考
主桁	GD2-01	0.150 × 0.550	1	0.083	
	GD2-02	0.200 × 0.900	1	0.180	
	GD2-03	0.100 × 0.300	1	0.030	
	GD2-04	0.200 × 0.550	1	0.110	
	GD2-05	0.200 × 0.300	1	0.060	
	GD2-06	0.200 × 0.900	1	0.180	
横桁	BD2-01	0.250 × 0.700	1	0.175	
床版	SD2-01	0.300 × 0.700	1	0.210	
地覆	JD2-01	0.150 × 0.250	1	0.038	
	JD2-02	0.200 × 0.700	1	0.140	
小計				Σ	1.206
				面積(m <sup>2</sup> )	1.206

断面修復工



断面修復工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m <sup>2</sup>	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理	式	1		
断面修復 (左官)		m <sup>2</sup>	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮*リマセメント系珪砂	m <sup>3</sup>	(3.0)	平均t=30mm

100m2当り

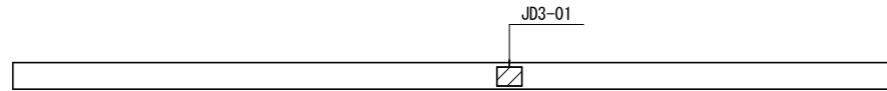
- 注) 1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。  
 2. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 3. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 4. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつり工を行うこと。  
 5. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

工事名	久我橋橋梁修繕工事
施工箇所名	亀山市関町久我地内
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その2)
縮尺	図示 図面番号 4
事務所名	亀山市

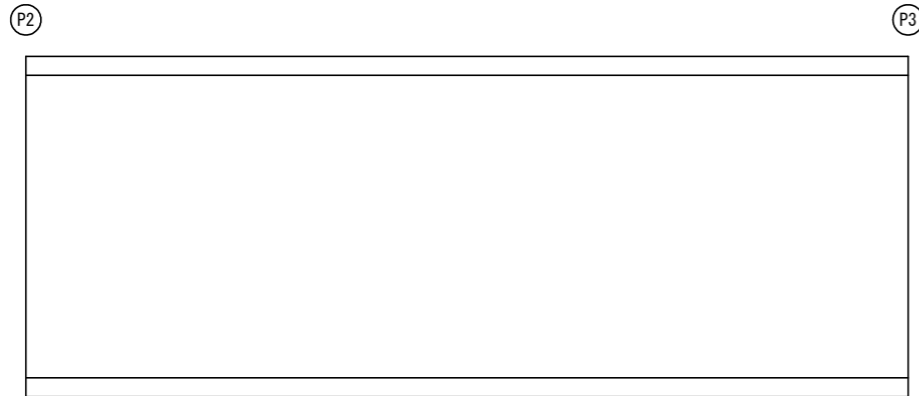
# 久我橋 上部工補修図(その3)

S=1:30

地覆 下流側



平面図  
(橋面)

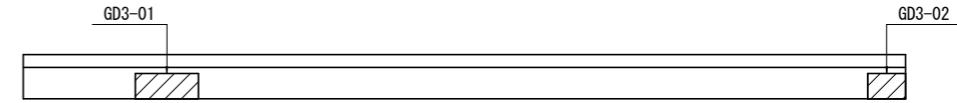


鈴鹿川 ↑

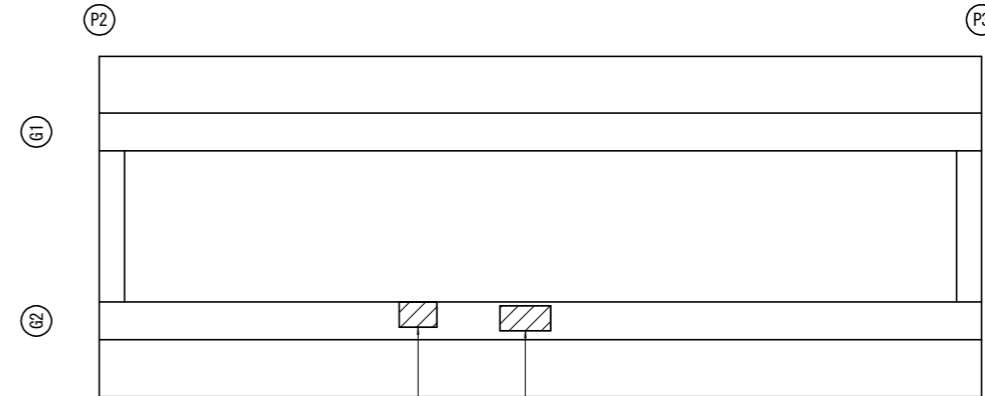
地覆 上流側



G1桁 上流側

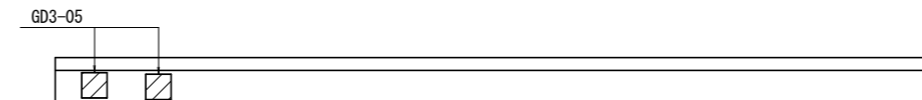


平面図  
(桁下)

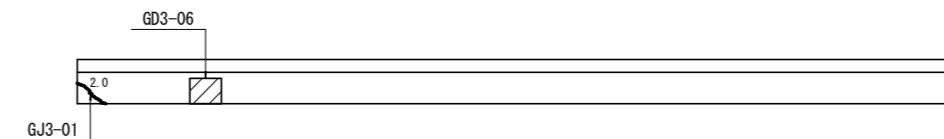


鈴鹿川 ↑

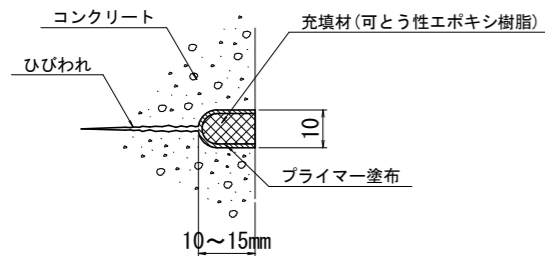
G2桁 下流側



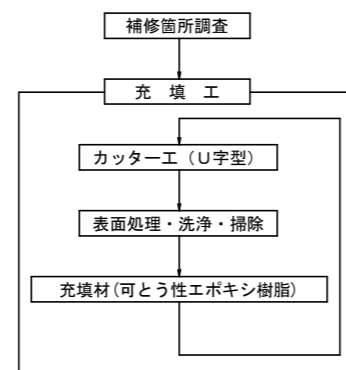
G2桁 上流側



ひびわれ充填 詳細図



施工手順



ひびわれ充填 数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
充填材	可とう性エポキシ樹脂	kg	21	1400kg/m <sup>3</sup>
コンクリート殻	無筋	m <sup>3</sup>	0.015	殻運搬含む 参考重量0.04kg

100m当り

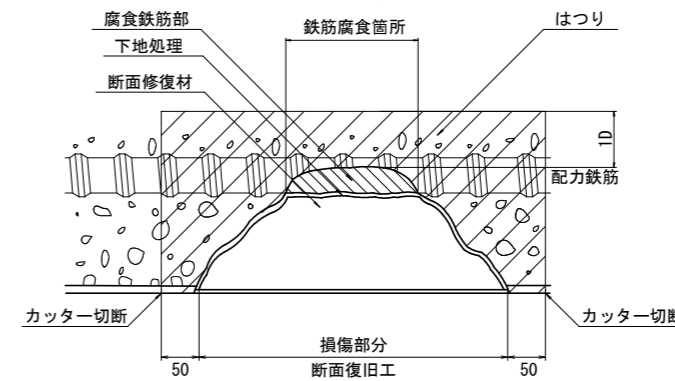
ひびわれ充填

部材	No.	延長 (m)	摘要
主桁	GJ3-01	0.3	ひび割れ幅 =2.0mm

断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状 (m)	箇所	面積 (m <sup>2</sup> )	備考
主桁	GD3-01	0.200 × 0.600	1	0.120	
	GD3-02	0.200 × 0.400	1	0.080	
	GD3-03	0.200 × 0.400	1	0.080	
	GD3-04	0.200 × 0.500	1	0.100	
	GD3-05	0.200 × 0.300	2	0.120	
	GD3-06	0.200 × 0.350	1	0.070	
地覆	JD3-01	0.150 × 0.300	1	0.045	
	JD3-02	0.150 × 0.300	1	0.045	
小計				Σ	0.660
				面積 (m <sup>2</sup> )	0.660

断面修復工



断面修復工数量表

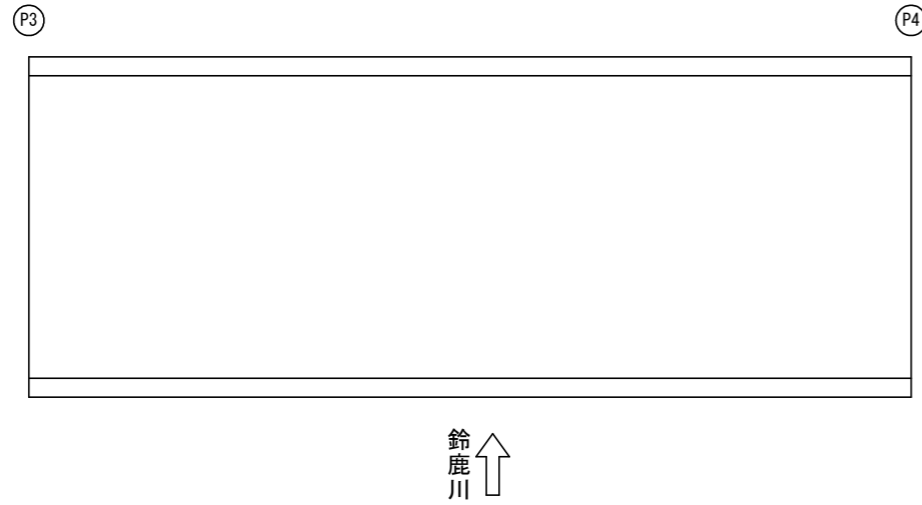
名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m <sup>2</sup>	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理	式	1		
断面修復 (左官)		m <sup>2</sup>	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮 100% 系 系 系	m <sup>3</sup>	(3.0)	平均t=30mm

100m2当り

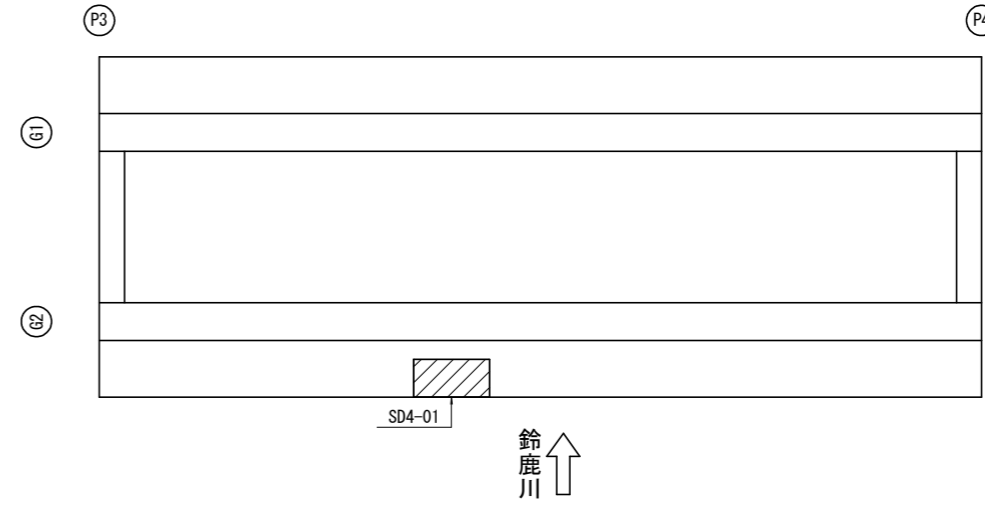
- 注) 1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。  
 2. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 3. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 4. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつり工を行うこと。  
 5. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町久我地内		
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	5
事務所名	亀山市		

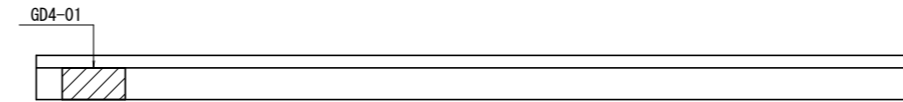
平面図  
(橋面)



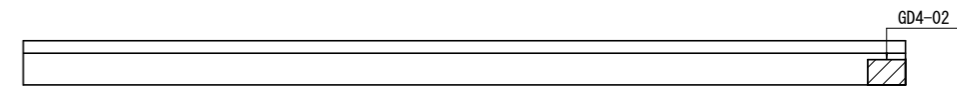
平面図  
(桁下)



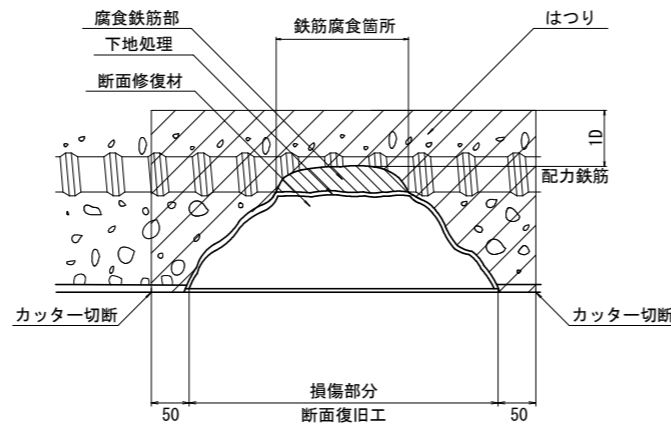
G2桁 下流側



G2桁 上流側



断面修復工



断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状(m)	箇所	面積(m2)	備考
主桁	GD4-01	0.250 × 0.600	1	0.150	
	GD4-02	0.200 × 0.400	1	0.080	
床版	SD4-01	0.300 × 0.700	1	0.210	
小計				Σ	0.440
				面積(m3)	0.440

断面修復工数量表

100m2当り

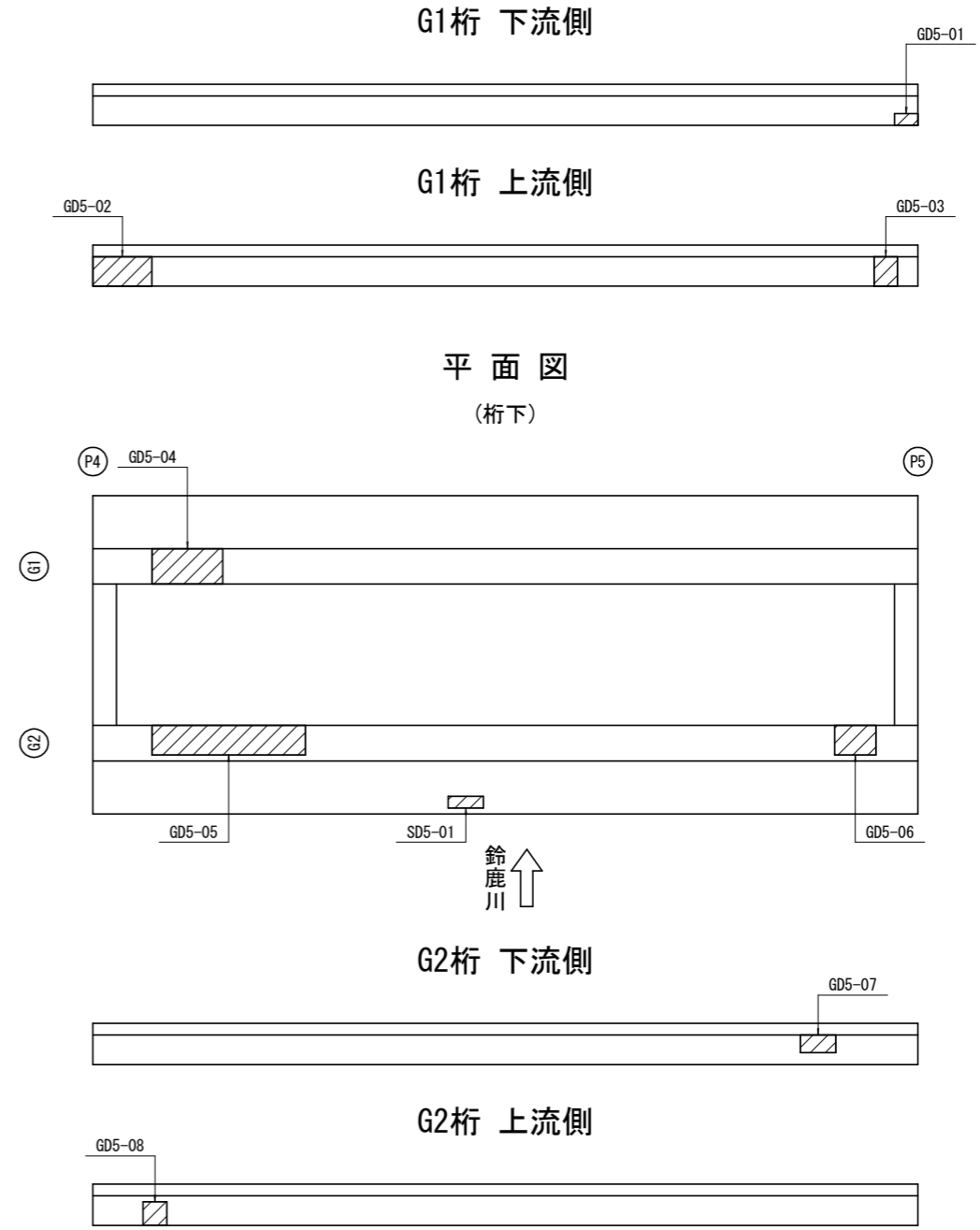
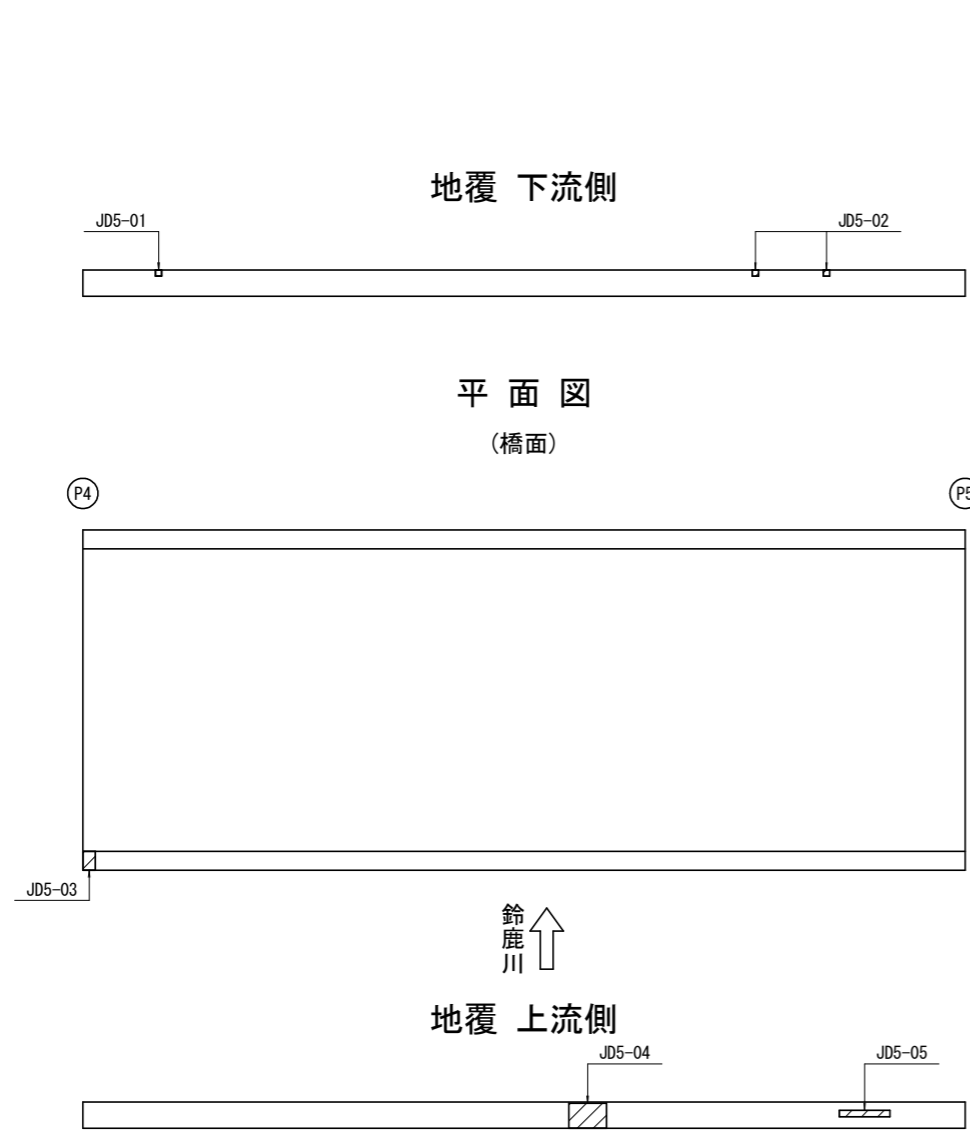
名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m2	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理		式	1	
断面修復(左官)		m2	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮ポ リマーセメント系モルタル	m3	(3.0)	平均t=30mm

- 注) 1. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 2. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所周辺については、損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつりを行うこと。  
 4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

工事名	久我橋橋梁補修工事		
施工箇所名	亀山市関町久我地内		
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	6
事務所名	亀山市		

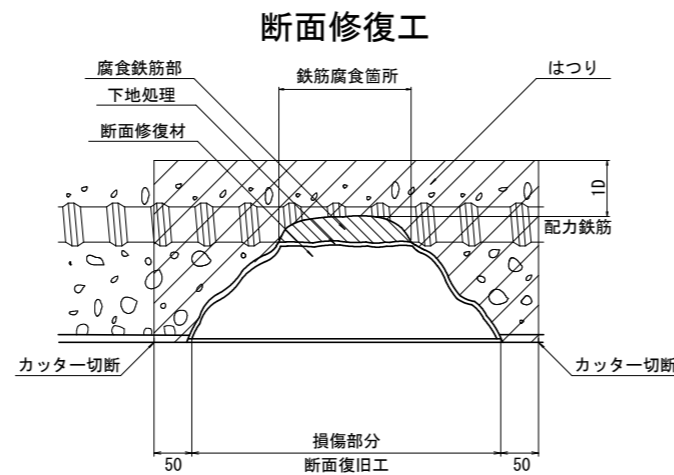
# 久我橋 上部工補修図(その5)

S=1:30



断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状(m)	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	備考	
主桁	GD5-01	0.100 × 0.300	1	0.030		
	GD5-02	0.250 × 0.600	1	0.150		
	GD5-03	0.250 × 0.300	1	0.075		
	GD5-04	0.300 × 0.700	1	0.210		
	GD5-05	0.250 × 1.400	1	0.350		
	GD5-06	0.250 × 0.450	1	0.113		
	GD5-07	0.150 × 0.400	1	0.060		
	GD5-08	0.200 × 0.300	1	0.060		
床版	SD5-01	0.100 × 0.400	1	0.040		
	地覆	JD5-01	0.050 × 0.150	1	0.008	
		JD5-02	0.050 × 0.150	2	0.015	
		JD5-03	0.150 × 0.200	1	0.030	
		JD5-04	0.200 × 0.400	1	0.080	
JD5-05	0.050 × 0.500	1	0.025			
小計		Σ		1.246		
面積(m <sup>2</sup> )				1.246		



断面修復工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m <sup>2</sup>	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理		式	1	
断面修復 (左官)		m <sup>2</sup>	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮ホリマセメント系モルタル	m <sup>3</sup>	(3.0)	平均t=30mm

100m<sup>2</sup>当り

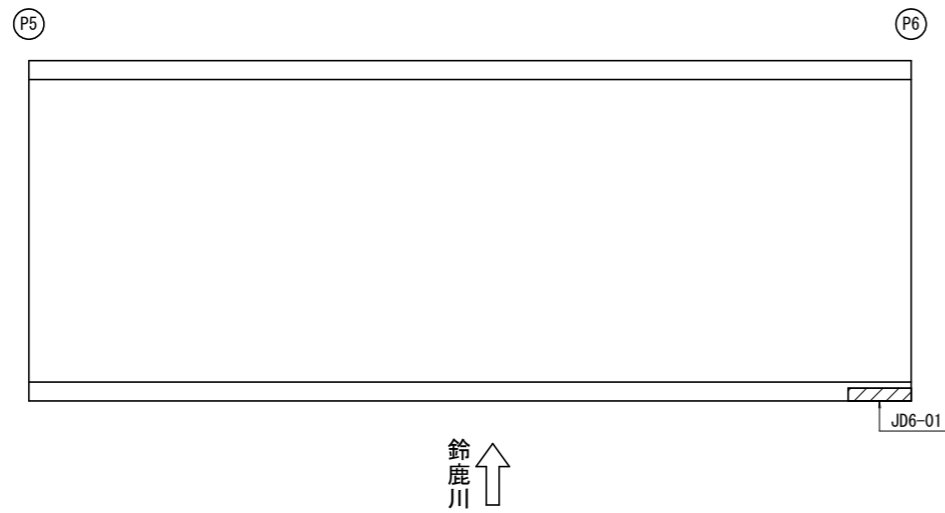
- 注) 1. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 2. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より1D分まではつりを行うこと。  
 4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町久我地内		
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	7
事務所名	亀山市		

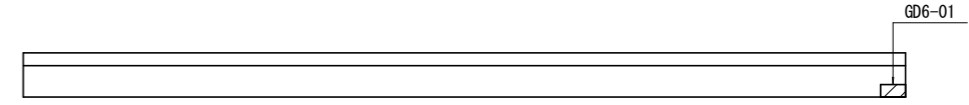
# 久我橋 上部工補修図(その6)

S=1:30

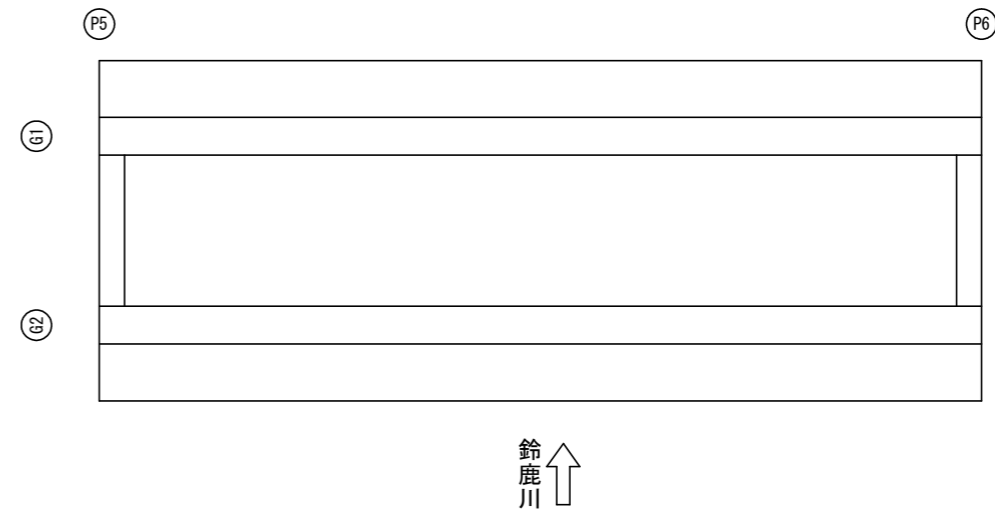
平面図  
(橋面)



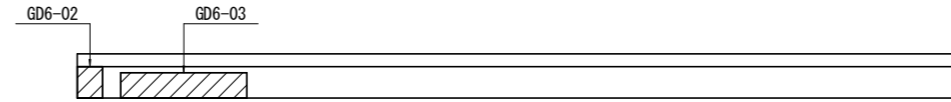
G1桁 上流側



平面図  
(桁下)

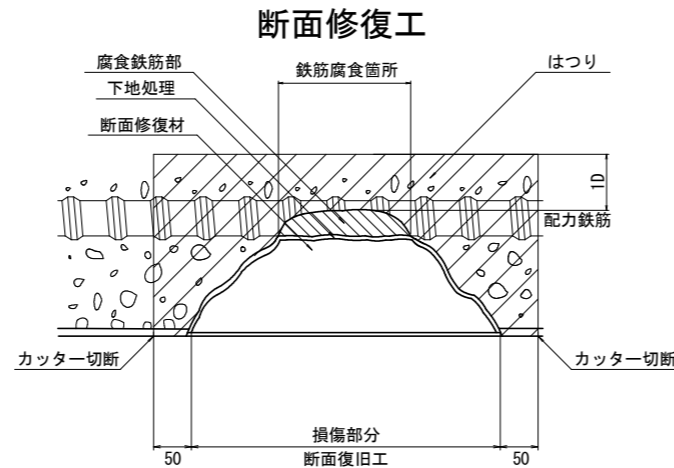


G2桁 下流側



断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状(m)	箇所	面積(m2)	備考
主桁	GD6-01	0.100 × 0.300	1	0.030	
	GD6-02	0.250 × 0.300	1	0.075	
	GD6-03	0.200 × 1.100	1	0.220	
地覆	JD6-01	0.100 × 0.600	1	0.060	
小計				Σ	0.385
				面積(m2)	0.385



断面修復工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m2	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理		式	1	
断面修復(左官)		m2	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮ホリマセメント系珪砂	m3	(3.0)	平均t=30mm

- 注) 1. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 2. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については、損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつりを行うこと。  
 4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

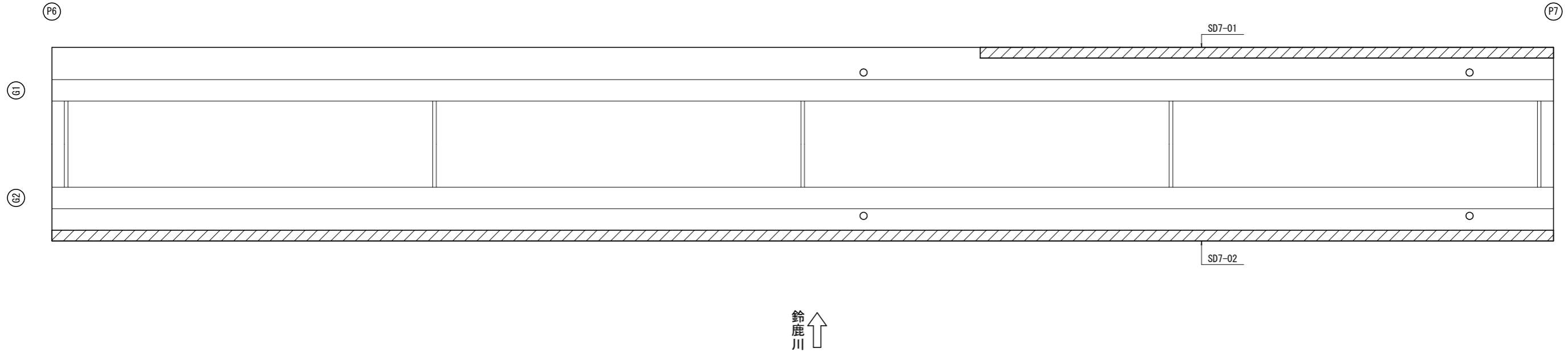
工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町新所地内		
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	8
事務所名	亀山市		



# 久我橋 上部工補修図(その7)

S=1:30

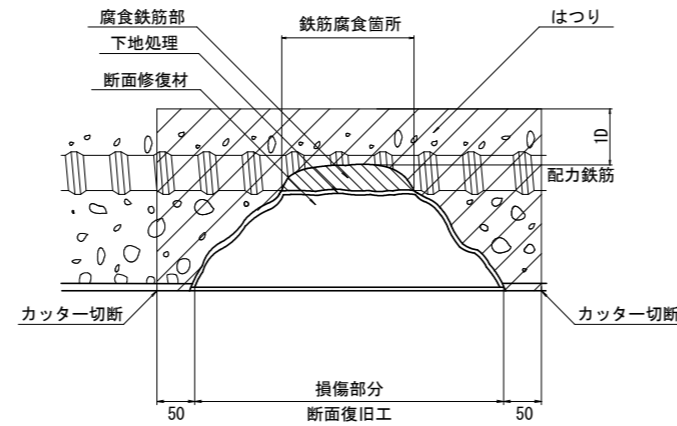
## 平面図 (桁下)



## 断面修復工

断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状 (m)	箇所	面積 (m <sup>2</sup> )	備考
床版	SD7-01	0.150 × 8.100	1	1.215	
	SD7-02	0.150 × 21.050	1	3.158	
小計				Σ	4.373
				面積 (m <sup>2</sup> )	4.373



断面修復工数量表

100m<sup>2</sup>当り

名称	規格	単位	数量	備考
既設のはつり		m <sup>2</sup>	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理		式	1	
断面修復 (左官)		m <sup>2</sup>	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮* リマセメント系モルタル	m <sup>3</sup>	(3.0)	平均t=30mm

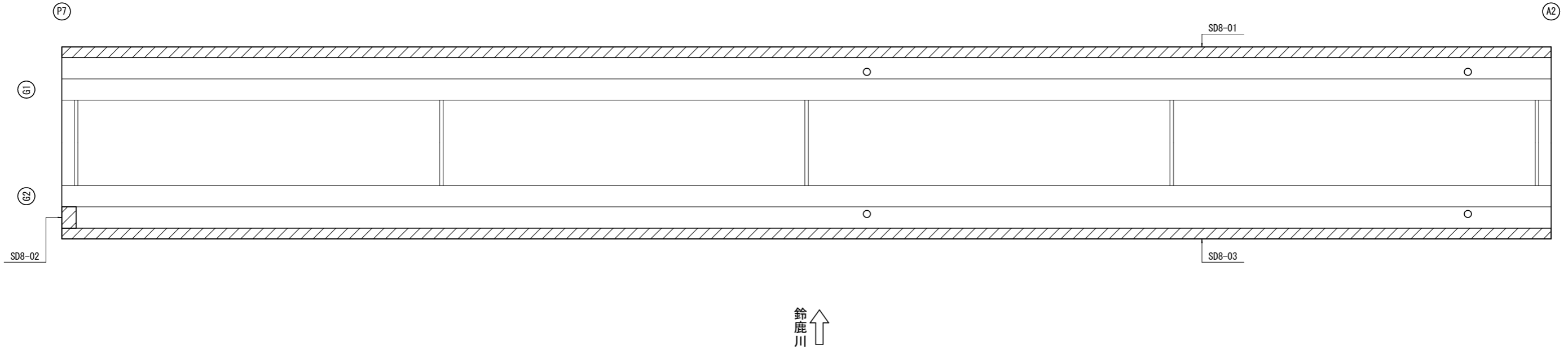
- 注) 1. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 2. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については、損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつりを行うこと。  
 4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町新所地内		
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	9
事務所名	亀山市		

# 久我橋 上部工補修図(その8)

S=1:30

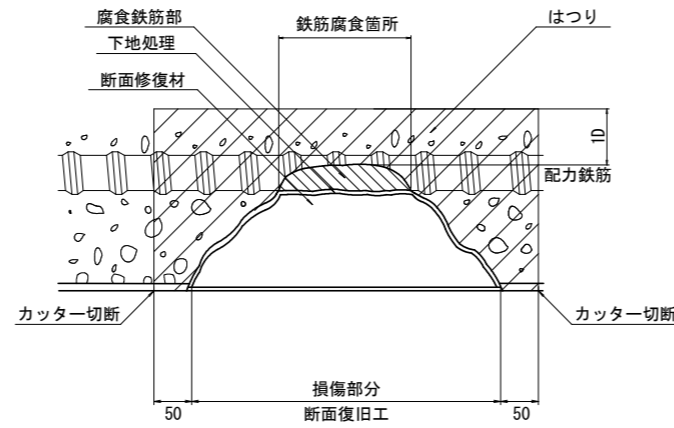
## 平面図 (桁下)



## 断面修復工

断面修復工数量 [平均深さ30mm]

部材	No.	形状 (m)	箇所	面積 (m <sup>2</sup> )	備考
床版	SD8-01	0.150 × 21.050	1	3.158	
	SD8-02	0.300 × 0.300	1	0.090	
	SD8-03	0.150 × 21.050	1	3.158	
小計				Σ	6.406
				面積 (m <sup>2</sup> )	6.406



断面修復工数量表

100m<sup>2</sup>当り

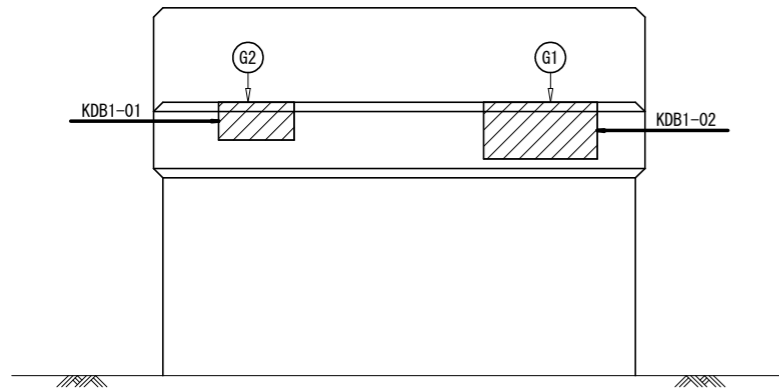
名称	規格	単位	数量	備考
既設のはつり		m <sup>2</sup>	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理		式	1	
断面修復 (左官)		m <sup>2</sup>	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮* リマセメント系モルタル	m <sup>3</sup>	(3.0)	平均t=30mm

- 注) 1. 下地処理の厚さを、上部工平均t=30mmとして算出。  
 2. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については、損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。  
 3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつりを行うこと。  
 4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。

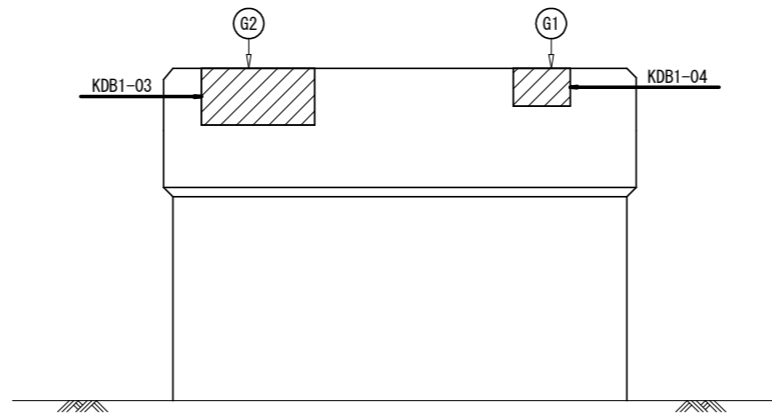
工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町新所地内		
図面の種類	久我橋 上部工補修図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	10
事務所名	亀山市		

久我橋 下部工補修図(その1) S=1:20

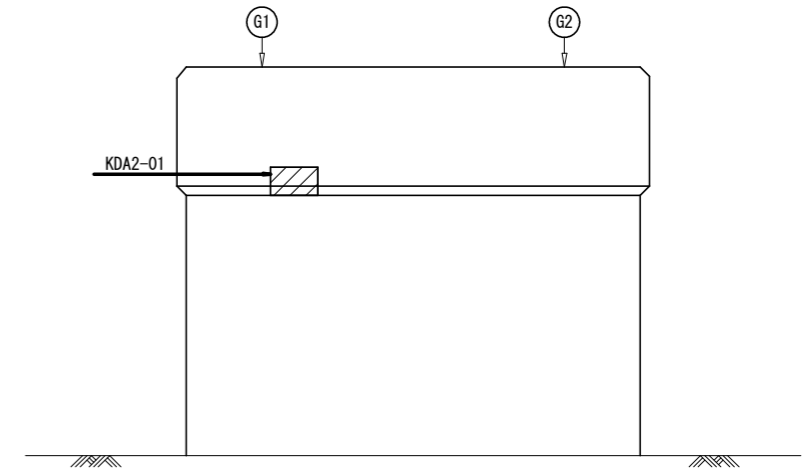
A1橋台



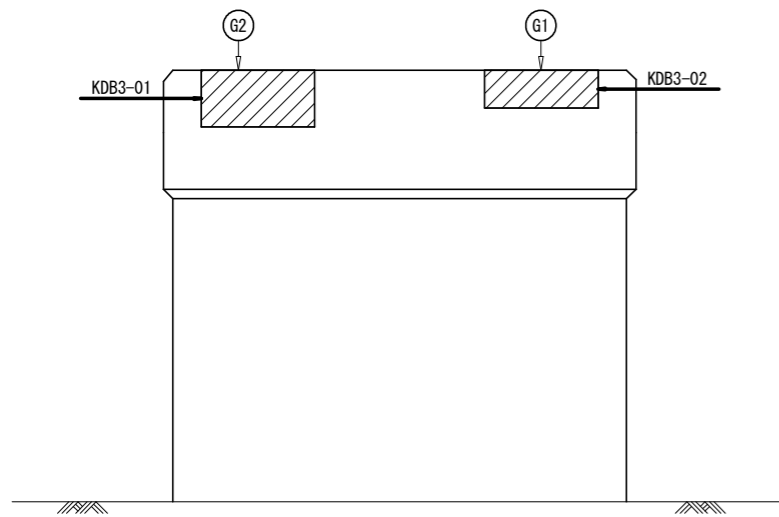
P1橋脚 (P2側)



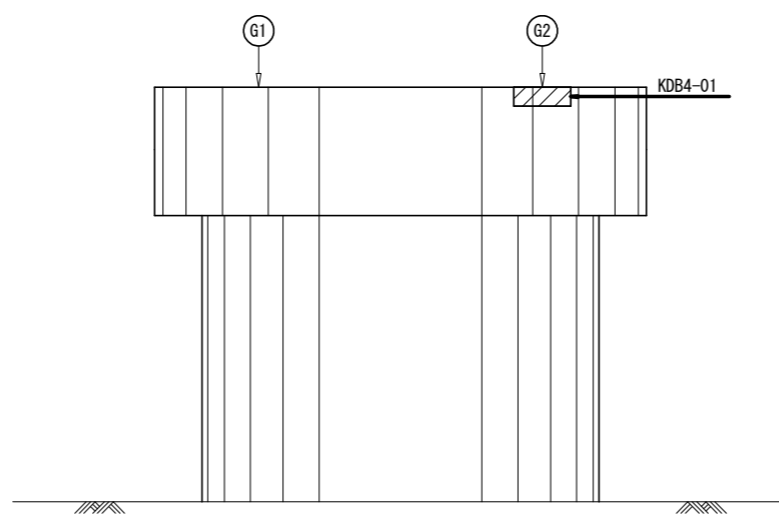
P2橋脚 (P1側)



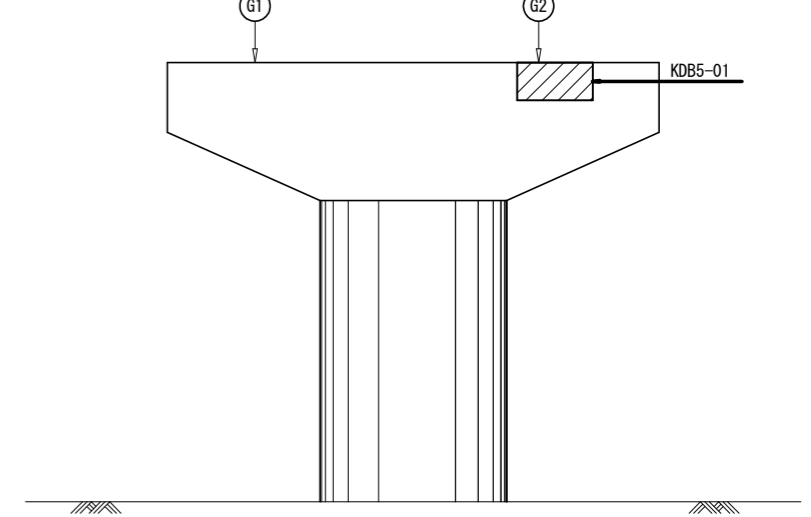
P3橋脚 (P4側)



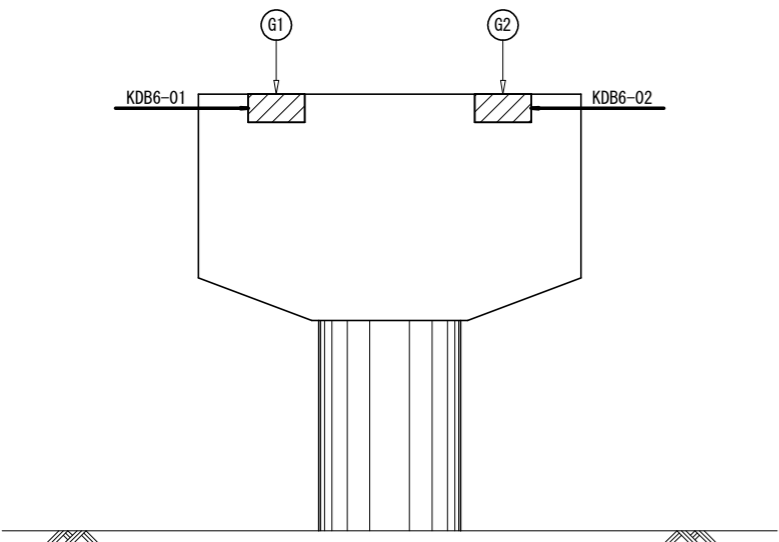
P4橋脚 (P3側)



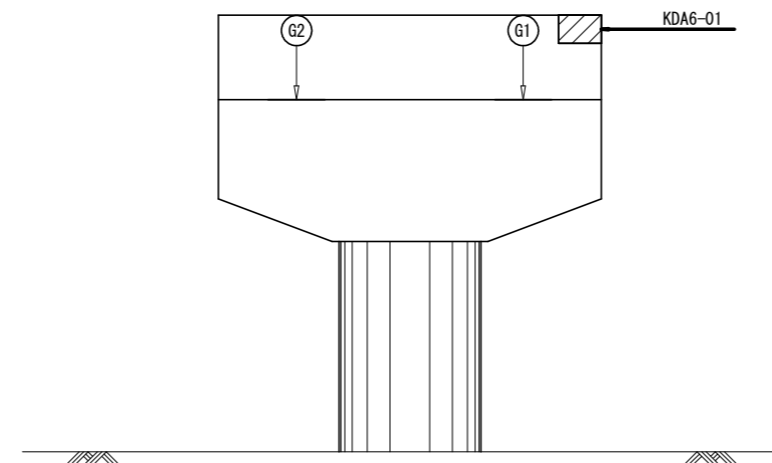
P5橋脚 (P4側)



P6橋脚 (P5側)



P6橋脚 (P7側)



工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町新所地内		
図面の種類	久我橋 下部工補修図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	11
事務所名	亀山市		

# 久我橋 下部工補修図(その2)

断面修復工A 数量 [平均深さ70mm]

部材	No.	形状 (m)	箇所	面積 (m <sup>2</sup> )	備考
梁部	KDA2-01	0.150 × 0.350	1	0.053	
	KDA6-01	0.200 × 0.400	1	0.080	
小計				Σ	0.133
				面積 (m <sup>2</sup> )	0.133

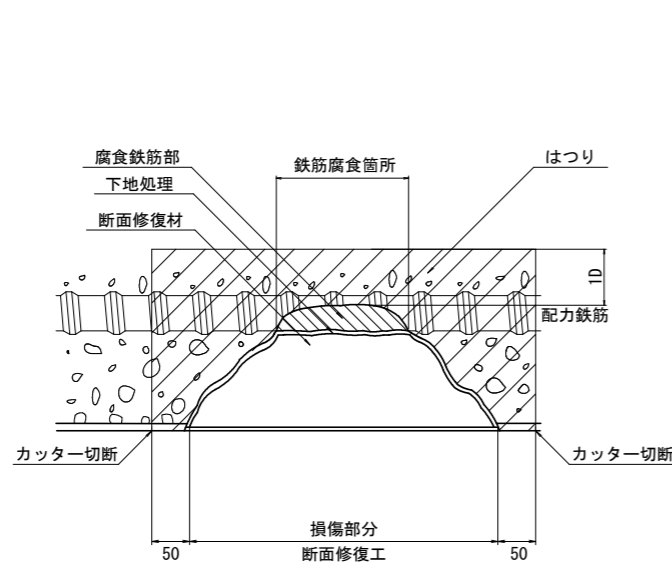
断面修復工B 数量 [平均深さ90mm]

部材	No.	形状 (m)	箇所	面積 (m <sup>2</sup> )	備考
縦壁	KDB1-01	0.300 × 0.500	1	0.150	
	KDB1-02	0.300 × 0.700	1	0.210	
梁部	KDB1-03	0.300 × 0.700	1	0.210	
	KDB1-04	0.300 × 0.400	1	0.120	
	KDB3-01	0.300 × 0.700	1	0.210	
	KDB3-02	0.300 × 0.700	1	0.210	
	KDB4-01	0.300 × 0.400	1	0.120	
	KDB5-01	0.300 × 0.500	1	0.150	
	KDB6-01	0.300 × 0.500	1	0.150	
	KDB6-02	0.300 × 0.500	1	0.150	
小計				Σ	1.680
				面積 (m <sup>2</sup> )	1.680

断面修復工B 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m <sup>2</sup>	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理		式	1	
断面修復 (左官)		m <sup>2</sup>	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮ホリマセメント系モルタル	m <sup>3</sup>	(9.0)	平均t=90mm

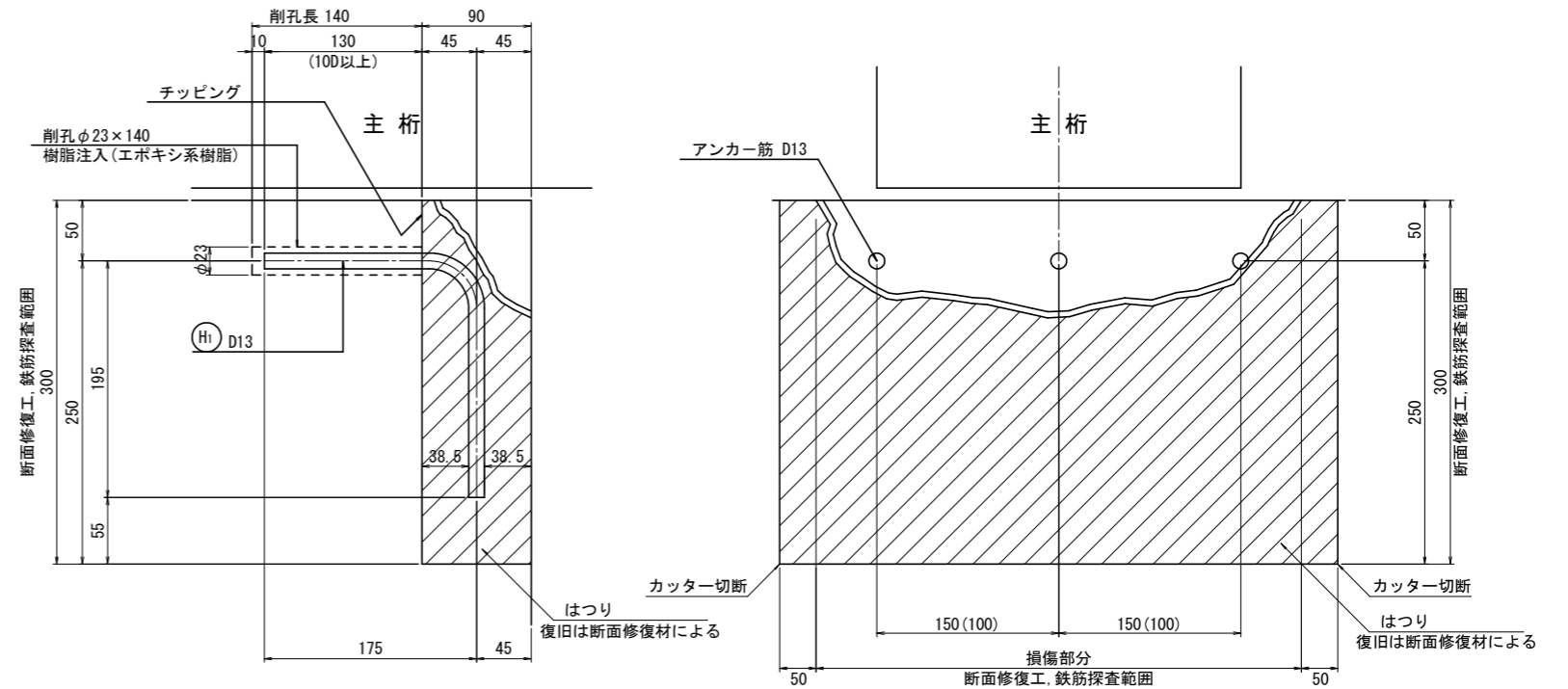
断面修復工 A



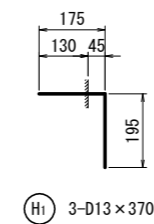
断面修復工A 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
既設Coはつり		m <sup>2</sup>	100.0	カッター工含む
鉄筋ケレン・防腐処理		式	1	
断面修復 (左官)		m <sup>2</sup>	100.0	プライマー含む
断面修復材	無収縮ホリマセメント系モルタル	m <sup>3</sup>	(7.0)	平均t=70mm

断面修復工 B S=1:3



鉄筋加工図 S=1:10



- 注) 1. 断面修復工Aについては、下地処理の厚さを、下部工平均t=70mmとして算出。  
断面修復工Bについては、下地処理の厚さを、下部工平均t=90mmとして算出。
2. 鉄筋のかぶりが少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面修復工を行うこと。
3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面より10分まではつりを行うこと。
4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。
5. 既設躯体の鉄筋を確認の上、アンカー用の削孔を行うこと。  
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
6. 鉄筋の材質はSD345とする。
7. 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチッピング処理を行うこと。

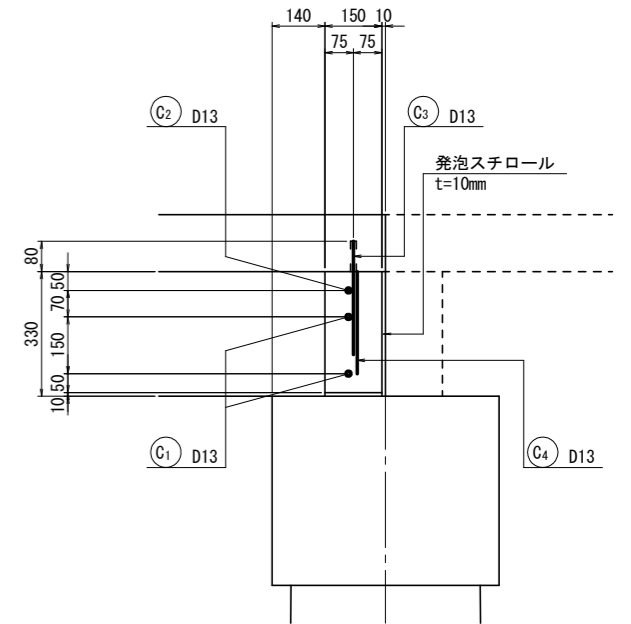
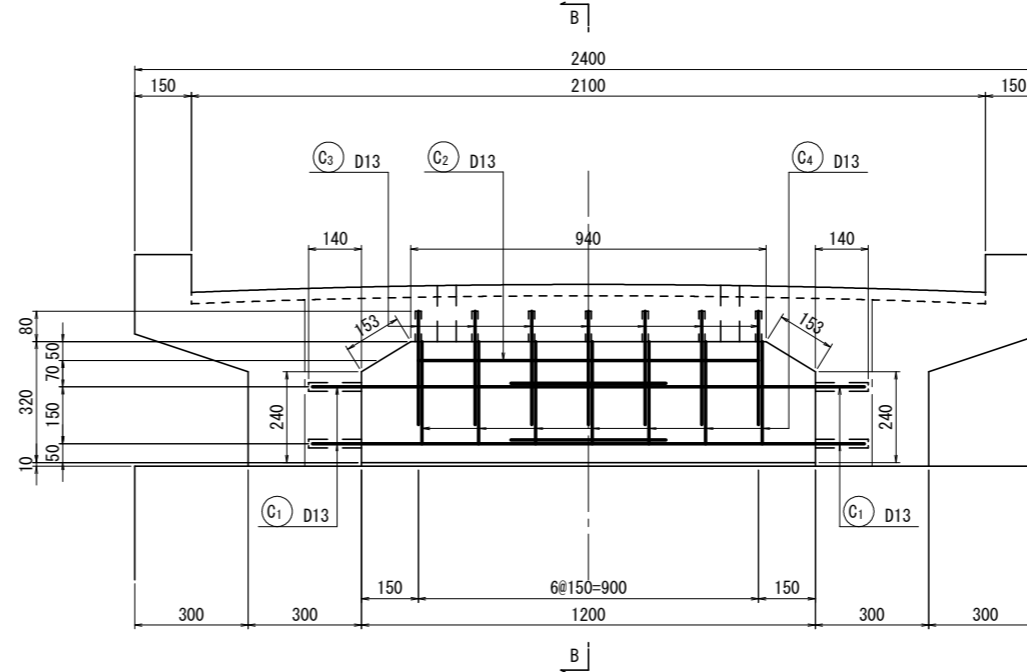
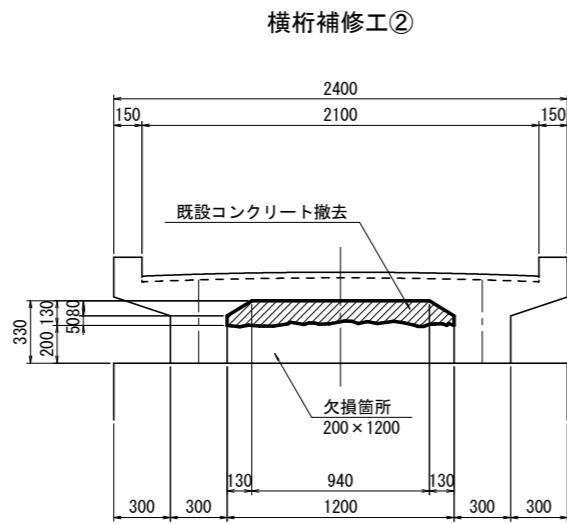
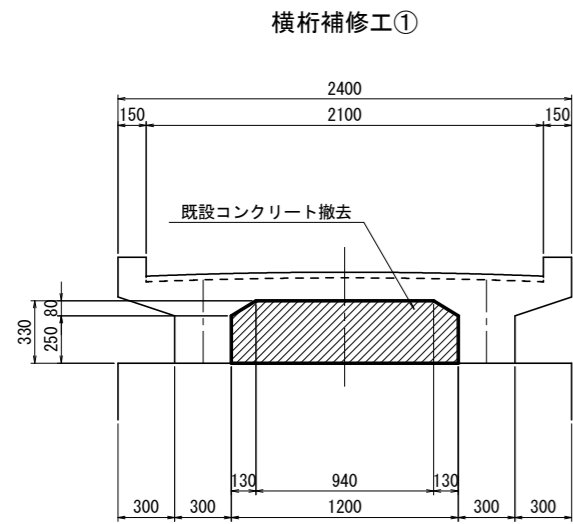
工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	三重県亀山市関町地内		
図面の種類	久我橋 下部工補修図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	12
事務所名	亀山市		

# 久我橋 横桁補修工詳細図

既設撤去図 S=1:20

横桁補修工配筋図 S=1:10

B - B S=1:10

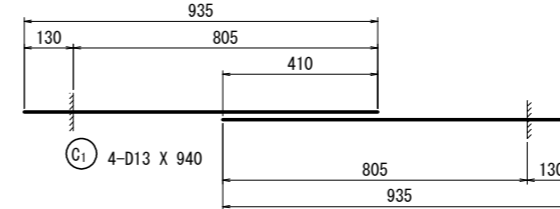
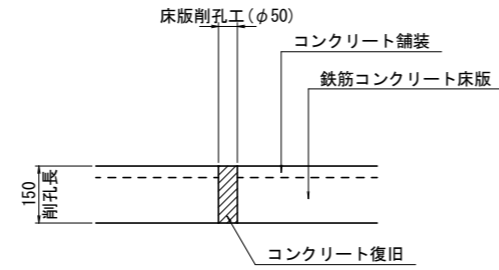
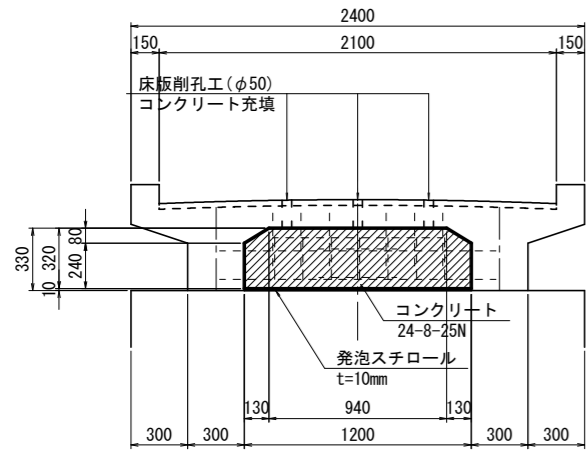


※ P6橋脚上は、横桁背面の発泡スチロールを型枠に変更すること。

コンクリート打設要領図 S=1:20

床版削孔部詳細図 S=1:10

鉄筋加工図



鉄筋質量表

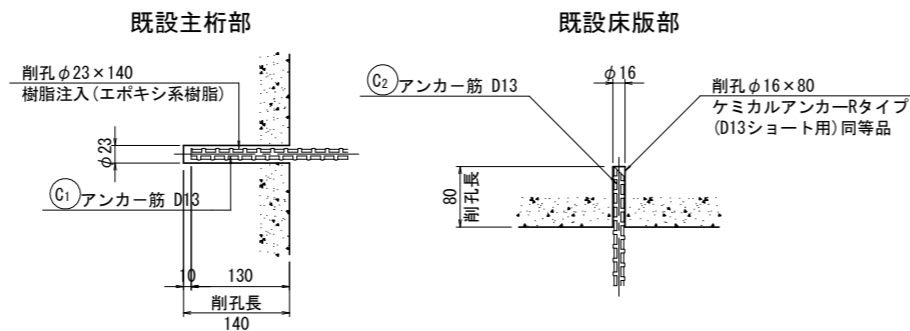
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C1	D13	940	4	0.995	0.94	4	アンカー筋 合計 D13 6 kg 総質量 6 kg
C3	D13	300	7	0.995	0.30	2	
						6	
C2	D13	900	1	0.995	0.90	1	合計 D13 3 kg 総質量 3 kg
C4	D13	270	7	0.995	0.27	2	
						3	
							合計 D13 3 kg 総質量 3 kg

施工手順

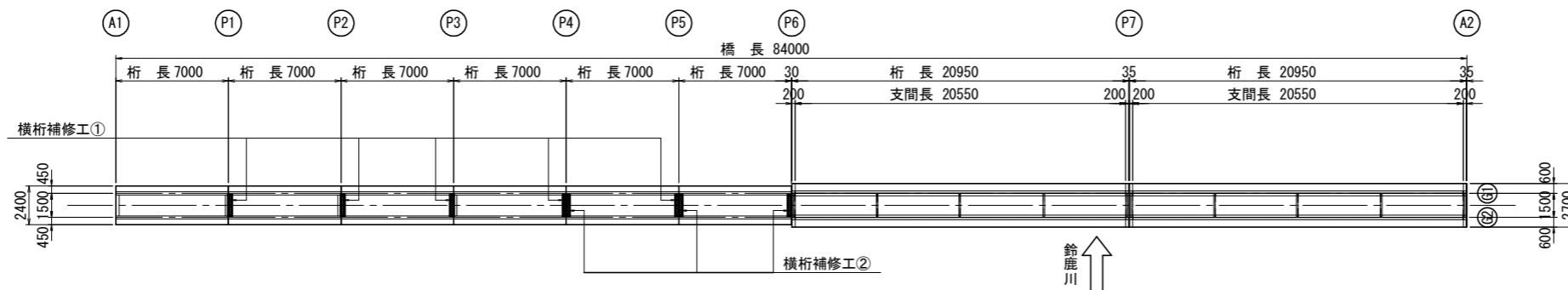


※コンクリート打設時の施工手順を示す。

アンカー筋定着部詳細図 S=1:5



施工位置図 S=1:200



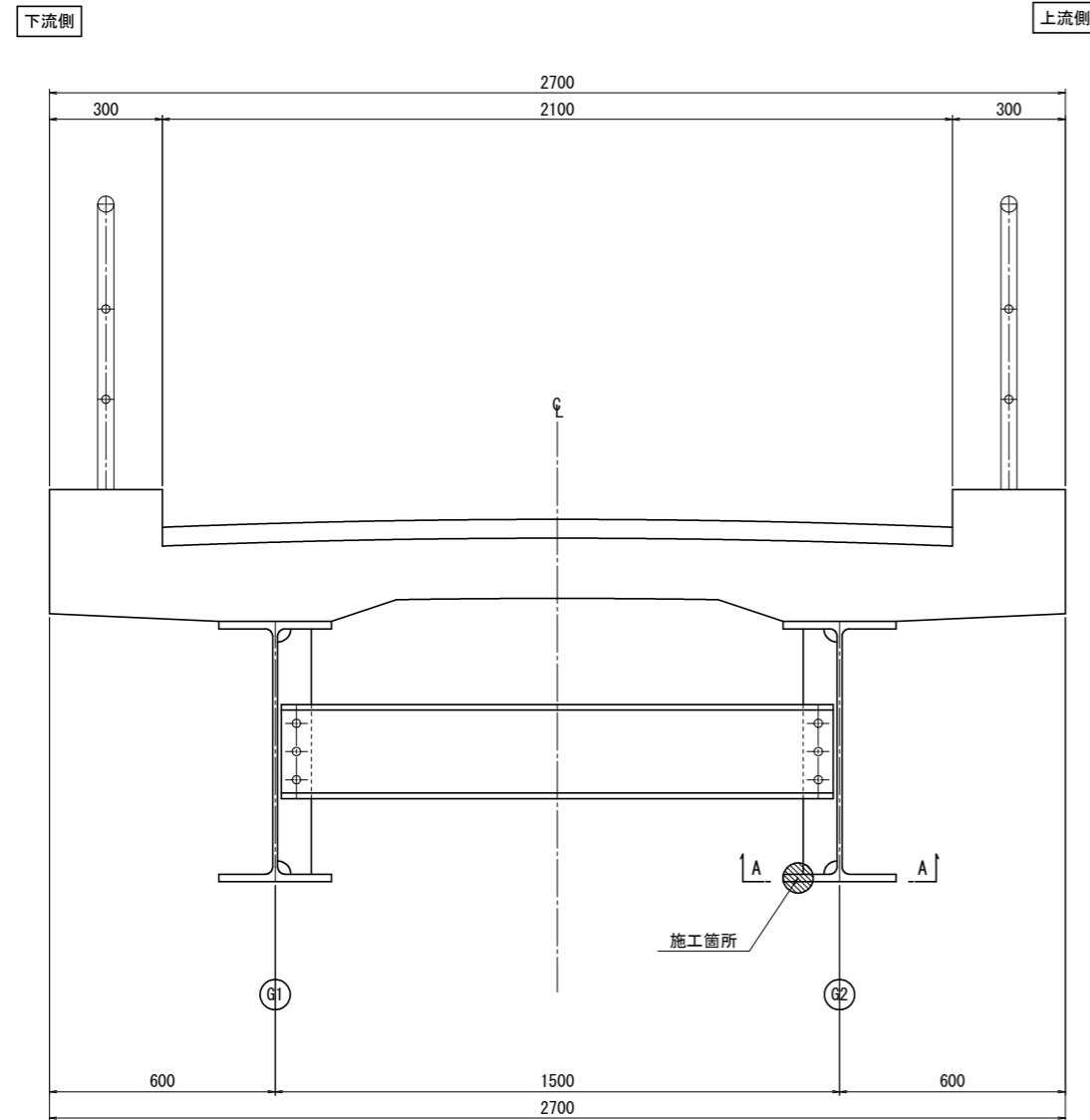
<注記>

1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
2. 床版の削孔にあたっては、鉄筋探査等により既設鉄筋位置を確認した後に削孔を行うこと。
3. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ 、鉄筋の材質は、SD345とする。

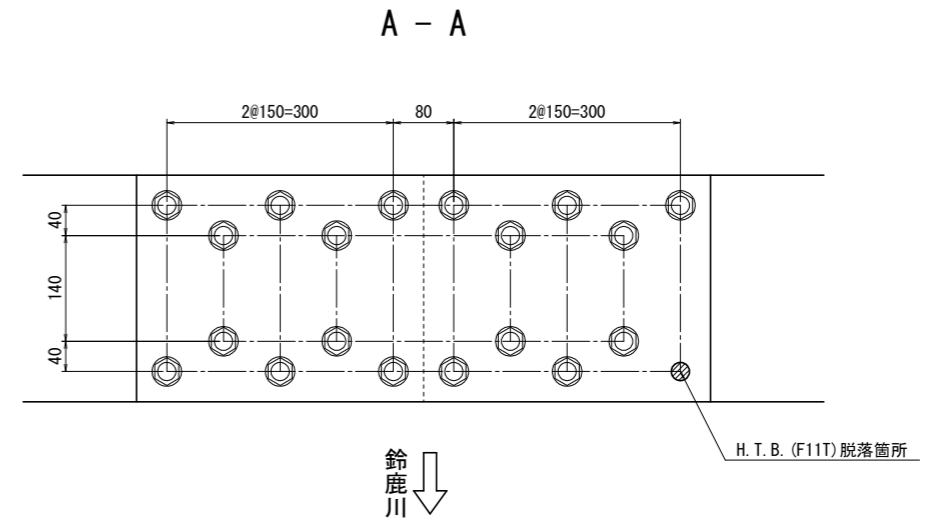
工事名	久我橋橋梁修繕工事
施工箇所名	亀山市関町新所地内
図面の種類	久我橋 横桁補修工詳細図
縮尺	図示 図面番号 13
事務所名	亀山市

# 久我橋 高力ボルト設置工詳細図

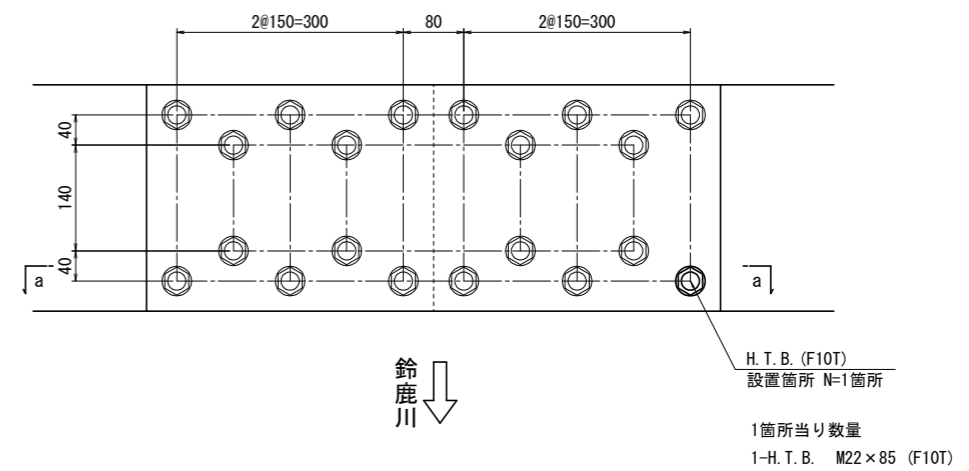
断面図 S=1:10



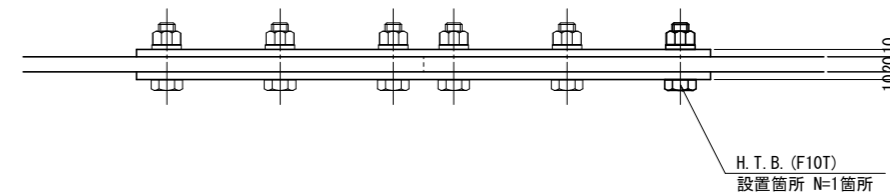
添接部詳細図 S=1:5



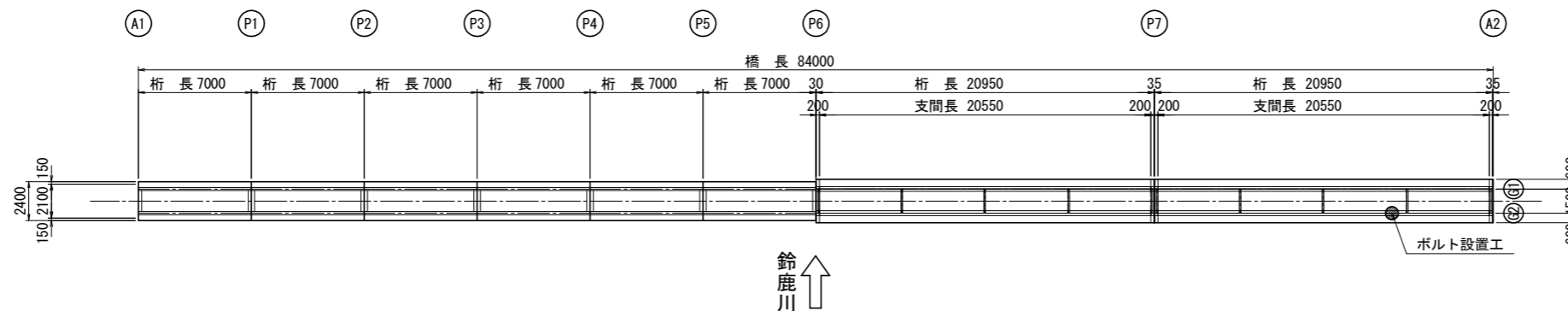
高力ボルト設置図 S=1:5



a - a S=1:5



施工位置図 S=1:200



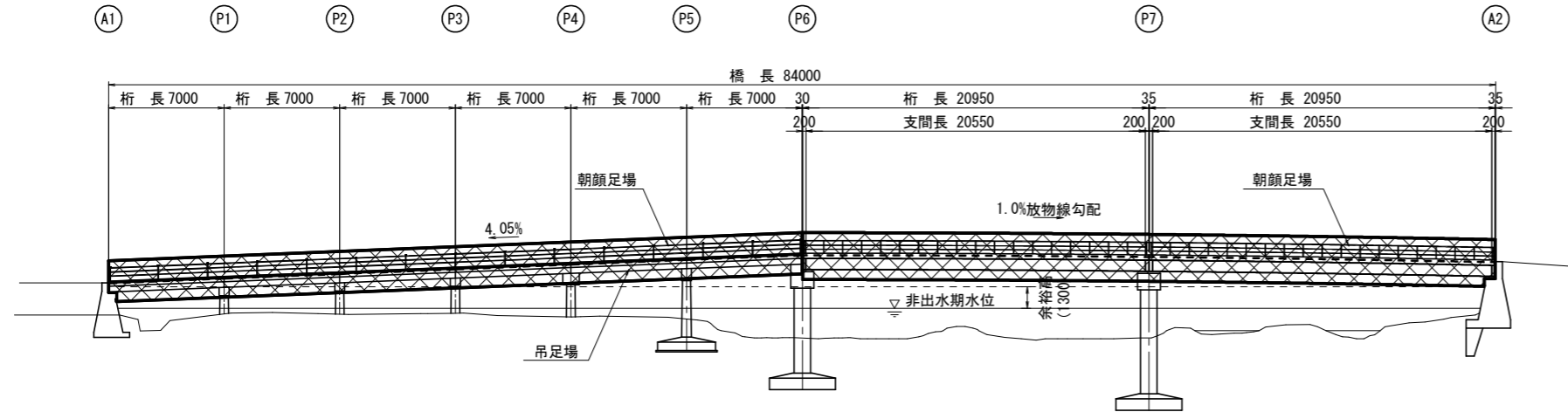
<注記>

1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
2. 補修部材は既設塗装塗替仕様と同等以上 (F-11塗装系) の防錆塗装を施すものとする。
3. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、同様の対策を実施すること。

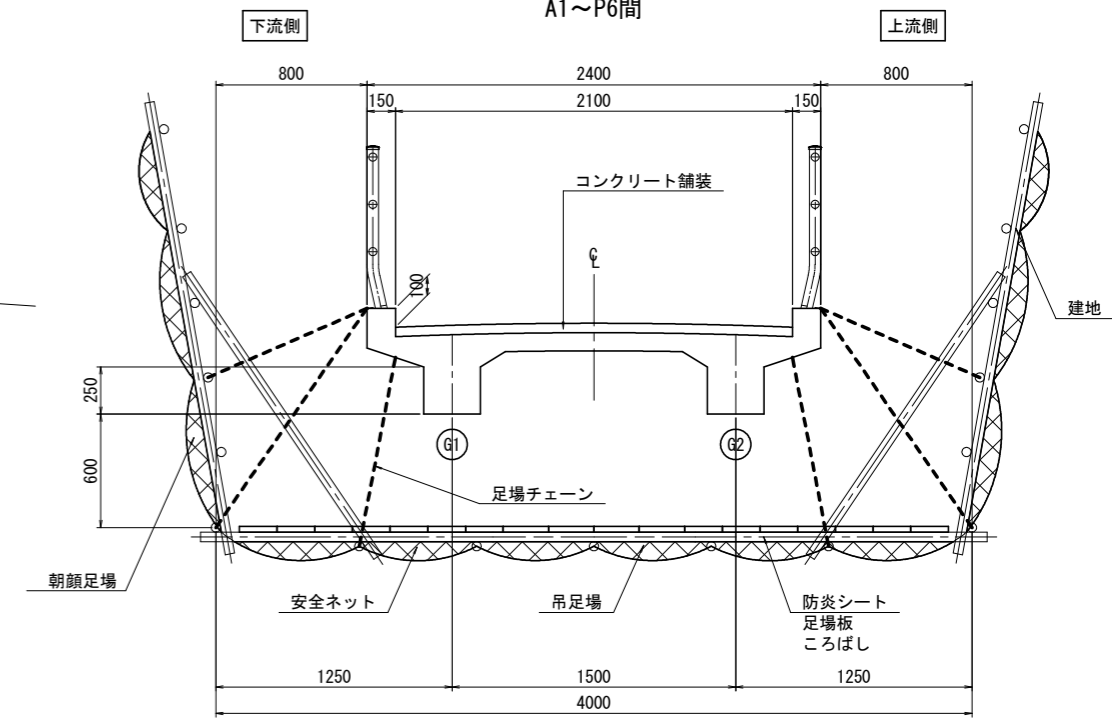
工事名	久我橋橋梁修繕工事		
施工箇所名	亀山市関町新所地内		
図面の種類	久我橋 高力ボルト設置工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	14
事務所名	亀山市		

# 久我橋 仮設図(参考図)

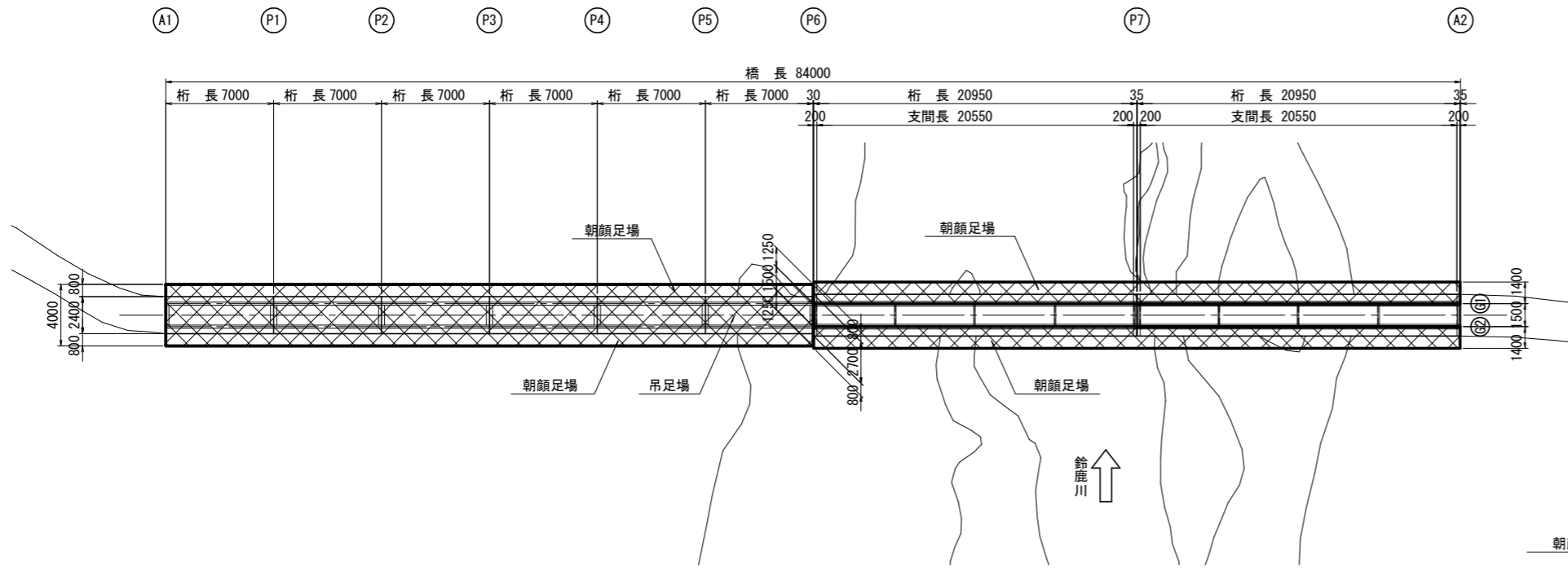
側面図 S=1:200



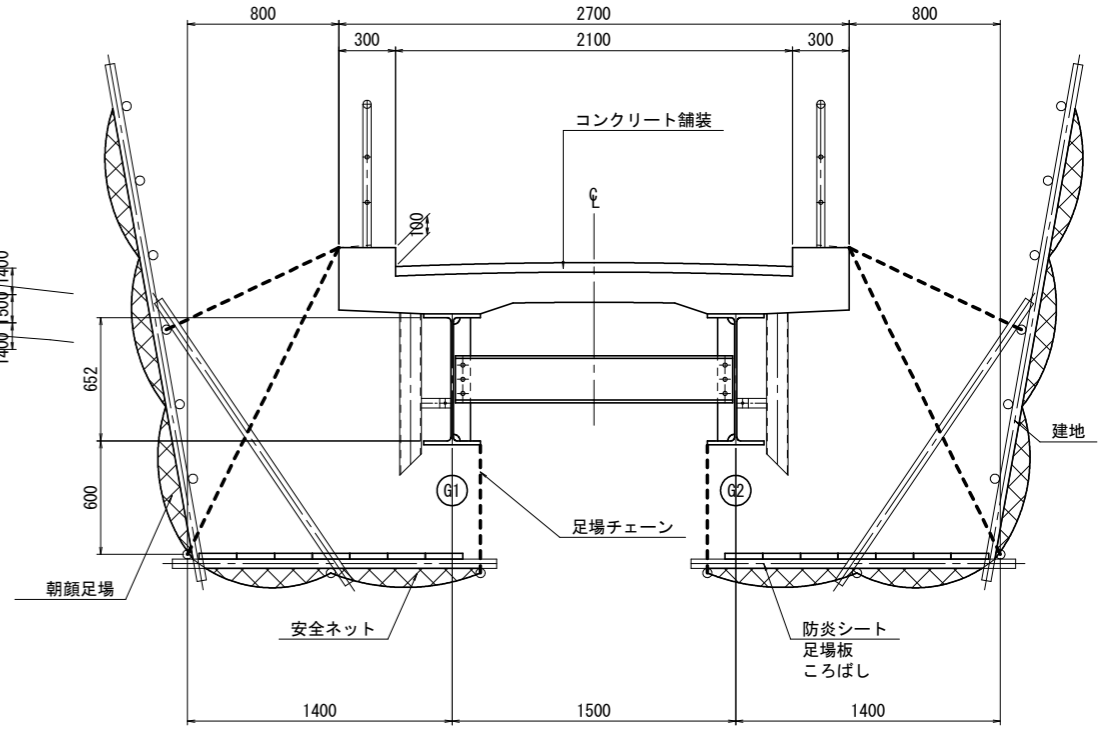
断面図 S=1:20



平面図 S=1:200



断面図 S=1:20



仮設工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
吊足場	TYPE A1	m2	290	シート張り防護
朝顔足場	TYPE B	m2	290	シート張り防護

一橋当り

※中央部からガラ等が下へ落ちないように対策を行うこと。  
 ※作業高さが地上より2.5m程度以下の場合には監督員と協議の上、移動可能な簡易足場等の使用も検討すること。

工事名	久我橋橋梁修繕工事
施工箇所名	亀山市関町新所地内
図面の種類	仮設図(参考図)
縮尺	図示 図面番号 15
事務所名	亀山市